

市政について聞く（一般質問）

12月定例会では、14名の議員により、2日間にわたって一般質問が行われました。
ここでは、主な質問と答弁の要旨を掲載します。

三田駅前一番館（キッピーモール）と三田地域振興株式会社

問 三田地域振興(株)の諸問題や経営責任、管理責任に対してどのような見解を持っているのか。

答 三田地域振興(株)は、昨年9月15日のキッピーモールのオープンに伴い、組織の充実を図るため組織改正を行い、さらに現場での権限と責任の所在を明確化するため、これまで総括「IT」ディネーターとして本開発に関わってきた人物を同社の経営本部長に配置した。
この人物が経営するコンサルタント会社との契約行為に関しては、社内の決定事項であり、把握している。

当該会社との契約を締結した当時、現在の経営本部長は三田地域振興(株)の社員ではなく、総括「IT」ディネーターとして委託契約による業務を実施する立場であり、法及び社内就業規則には抵触しないとの判断をしているが、社会一般通念から、不正常との見方もある。

今後とも公的な第3セクターの社員である自覚と責任を促すよう、指導・監督をしていきたい。

問 三田地域振興(株)と同

社の経営本部長が社長をつとめる委託先コンサルタント会社との不透明な関係について徹底究明することこそが、これからのキッピーモールにとって大切ではないのか。

答 駅前再開発事業は、市民の安全・安心を基本に、都市再開発法により都市計画事業として実施したものである。

従前からの地権者の生活再建を確保し、三田駅前の発展を目指した事業を展開する中で今回の疑惑が生じた。

今後は、市として、はつきりと真相を究明するための調査を実施し、解決を図っていききたいので、時間をいただきたい。

市長が代表取締役を務め、助役2名が取締役。収入役と財務部長が監査役になっている。

市は50%を超える同社の筆頭株主でもあり、市としての責任は大きいと自覚している。

ブルの所有者、筆頭株主として、市が同社の業務をエックすることは当然のことであり、今後とも会社の経営責任は代表取締役社長(市長)をはじめとする取締役が負うものと考えている。

問 市長と助役が社長と取締役を務めているにもかかわらず、三田地域振興(株)の内部業務について、ほとんど市は把握していない。また、市側の担当課においても把握できていないなど社内内部業務についてチェックされずに済む構図になっている。

答 三田地域振興(株)の責任体制について伺いたい。

質問者名

大月 勝 (盟正会)	関口 正人 (市民クラブ21)
美藤 和広 (民主・市民連合)	初美 (日本共産党)
藤原美津雄 (公明党)	秀一 (新風みらい)
平野 管子 (公明党)	圭恵 (新風みらい)
厚地 弘行 (盟正会)	三木 三郎 (市民クラブ21)
野村 弘子 (民主・市民連合)	坂本 敏弘 (新樹)
國永 紀子 (日本共産党)	松岡 信生 (公明党)

報機器の運営委託についても、6階の受付案内業務と一体的に行うことが効率的であるため同社に委託した。同社はキッピーモールのビル全体の管理運営者であり、建物全体を一体的、効率的に管理することで、時間、費用が有効に活用でき、またコスト削減はもとより、緊急体制、緊急対応といった危機管理が可能であることから委託先に決定している。

問 キッピーモールの駐車場について、集客の向上を図るため現在の90分間無料を2時間無料にできないか。

答 無料駐車時間を延長することについては、キッピーモールへの集客に一定の効果があると考えられるが、一方で現在は90分間で月坪2千円をテナントから駐車場料金として徴収しており、2時間ということになるとその価格をどうするのか。また、駐車場経営に影響を及ぼすという問題もある。

キッピーモールがいかに繁栄するかを基本的な観点に置き、お客様の「意見も十分参考にしながら今後の方向性を調整していきたい。

問 キッピーモール6階まちづくり協働センターの管理運営業務を三田地域振興(株)に委託する根拠、比較対象などについて、行革の観点から伺いたい。

答 「まちづくり協働センター」業務については、三田地域振興(株)に、5階、6階の施設管理業務と6階の貸し館及び施設運営業務を委託している。専門業者による情

バス停ベンチの撤去

問 バス停のベンチ撤去にあたり、その後の設置を視野に入れていたのか。また、新たなベンチの設置が遅いのではないか。

答 景観法の施行や屋外広告物法などの法令改正によって広告つきベンチが違法物件となることや、違法ベンチが車椅子などの通行の支障になることから、今年の春ごろから緊急に撤去してきた。
こつしたことに対応するため、本年度当初から庁内において検討委員会を設置し、撤去後における新たなベンチの設置基準について整理し、先の9月定例会において予算計上を行った。設置が遅くなった要因は、整備箇所の歩道幅の確認、地下埋設物の調査、整備の優先順位、設置位置の調整のほか、ベンチが受注生産のため発注から約40日

三田地域振興(株)の管理運営等の問題を調査する委員会を設置しました。

三田地域振興株式会社の運営について12月定例会において多くの議員から疑問点が指摘されました。これを重要視した三田市議会ではこの問題を調査する「三田地域振興(株)の管理運営等に関する調査委員会」を12月14日に設置しました。本年3月までに調査報告書をまとめ議会で報告する予定です。

委員長	大月 勝	委員	平野 管子
副委員長	中田 初美	委員	厚地 弘行
委員	三木 圭恵	委員	野村 弘子
委員	坂本 三郎		



▲ベンチの一刻も早い設置が望まれる(南ウディタウン駅前バス停)